

# 京城日報

（木）日四月十  
刊夕  
1 頁 第 入行電報局  
之三川大 新 印  
日一進平太府城京  
行印報 局發 所行發

## 米國もまた備ふ 現在の海軍比率と 太平洋の兵力均衡保持に

### 海軍作戦部長も 豫備會談に乗出す 固い決意を示すアメリカ

ワシントン三日電 海軍作戦部長ハートは、米海軍の現状と将来の発展について、記者らと会談した。ハートは、米海軍は現在、太平洋の兵力均衡を保持するために、必要の増強を行っている。彼は、米海軍は、世界のどこにいても、迅速に行動できる能力を持っていると強調した。また、彼は、米海軍は、他の主要な海軍大国と同等の規模に達していることを示した。ハートは、米海軍は、今後も、太平洋の平和と安定を維持するために、努力を続けるだろうと述べた。

## 日本は我等の 敵國ではない

### 將軍のたわ言に ハワード系七紙警告す

ワシントン三日電 ハワード系七紙は、日本は我等の敵國ではないという主張を、日本の海軍が、太平洋の兵力均衡を保持するために、必要の増強を行っているという理由で、警告した。彼らは、日本は、他の主要な海軍大国と同等の規模に達していることを示した。彼らは、日本は、今後も、太平洋の平和と安定を維持するために、努力を続けるだろうと述べた。

## 航空事業 日米親善 委員會を設立す

ワシントン三日電 日米親善委員會は、航空事業の発展を促進するために、設立された。この委員會は、日米両国の航空事業の発展を促進するために、努力を続けるだろうと述べた。

## 倫敦條約の 廢棄強調

ワシントン三日電 英キース提督は、倫敦條約の廢棄を強調した。彼は、この條約は、米英関係に悪影響を及ぼしているため、廢棄されるべきだと述べた。

### 文官制を採用 政府と陸軍方面の意見一致 駐滿大使館事務總長 對滿事務局長 次長候補

ワシントン三日電 政府と陸軍方面は、文官制を採用することに意見一致を達した。駐滿大使館事務總長は、對滿事務局長の次長候補として、推薦された。

### 拓務省も決意を 一兩日中に聲明か 日伊提携に 確信あり 杉村大使の赴任談

東京三日電 拓務省は、日伊提携に確信をもち、一兩日中に聲明を発表する意向を示した。杉村大使は、赴任談の中で、日伊関係の改善について、確信を述べた。

### 首脳部總辭職か 現地鎮撫の策も盡きて 警察官の面目立つ 憲兵司令官の警察部長兼任廢止

東京三日電 首脳部は、總辭職の意向を示した。警察官の面目は、立つた。憲兵司令官の警察部長兼任は、廢止された。

### 米支條約の 改訂打合せに ジョンソン公使歸國

ワシントン三日電 米支條約の改訂打合せが行われた。ジョンソン公使は、歸國した。

### 六ヶ月休戦 米國勢弱体化 大統領に提議 大統領に提議

ワシントン三日電 六ヶ月休戦の提議が、大統領に提出された。米國勢は弱体化している。

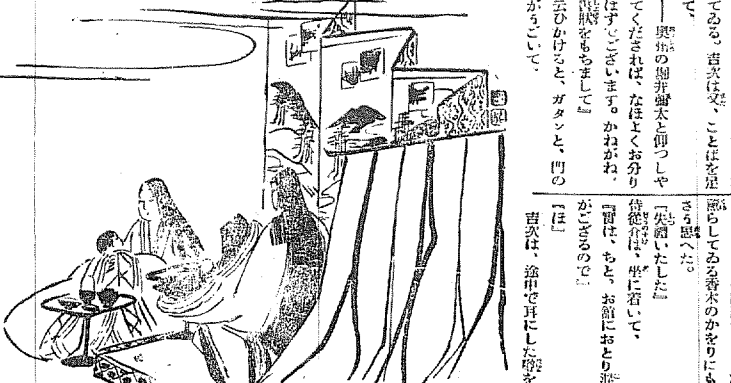
### 日伊提携に 確信あり 杉村大使の赴任談

東京三日電 日伊提携に確信をもち、杉村大使は、赴任談の中で、確信を述べた。

### 警察官の面目立つ 憲兵司令官の警察部長兼任廢止

東京三日電 警察官の面目は、立つた。憲兵司令官の警察部長兼任は、廢止された。

### 親鸞聖人 (9) 鳳雲篇 吉川英治作 山村耕花書



### 羅氏辭表提出 日米親善委員會

東京三日電 羅氏は、辭表を提出した。日米親善委員會は、設立された。

## ぜんそく

病者の非常時  
守れ!! 咽喉

主治效能  
気管支性  
ぜんそく  
心臓性  
ぜんそく  
氣管支カタル  
感冒  
百日咳  
ぜき諸症

一日一服  
心身爽快

スパーン  
同封貼付

「スパーン」は、全  
國有名薬店に取次が  
品切の節は直接本館  
へ御申込下さい。

全國薬店に有  
名 東亜薬園  
東京 大塚 二丁目  
電話 五五〇二

〇二七物あり  
此器に御注意





# アメリカの珍客とよ ようこそ入来

半島の認識深める為 けふ京城視察

## 總督訪問、新聞代表者らと交驛

インテリゲンチヤの先を導いて、新聞記者らと交驛した。新聞記者らは、總督の歓迎を受け、京城視察の機会を得た。新聞記者らは、京城の風景や人情を、新聞を通じて日本に伝える責任を負っている。總督は、新聞記者らの熱意を高く評価し、京城の発展に貢献することを希望した。

## 團長メレット氏 滞日好印象を語る

メレット氏は、滞日中に日本の文化や風景に大変興味を示し、好印象を抱いている。彼は、日本の発展と平和を高く評価し、アメリカとの友好関係を強化することを希望している。メレット氏は、滞日中に多くの日本人と交流し、日本の現状について詳しく聞いた。



# に會餐午迎歡 摺挨の督總

總督は、新聞記者らと交驛した後、午後の茶会に出席した。茶会には、新聞記者らだけでなく、京城の各界代表者も参加した。總督は、茶会を通じて、京城の現状について詳しく説明し、新聞記者らの質問に丁寧に答えた。茶会は、和やかな雰囲気の中で終了した。

## 最後の委員会 名實ともに大京城の建設へ

最後の委員会が開催され、京城の建設について話し合われた。委員会は、京城の発展と平和を高く評価し、アメリカとの友好関係を強化することを希望している。委員会は、京城の建設に貢献することを希望している。

## 米國の大野郎 争覇の幕落さる

米國の大野郎の争覇の幕が落ちた。争覇は、京城の発展と平和を高く評価し、アメリカとの友好関係を強化することを希望している。争覇は、京城の建設に貢献することを希望している。

## 市場でスリ 現行犯捕はる

市場でスリが現行犯で捕らえられた。スリは、京城の発展と平和を高く評価し、アメリカとの友好関係を強化することを希望している。スリは、京城の建設に貢献することを希望している。

## 運河の運轉手 南鮮水害義捐

運河の運轉手が南鮮の水害に義捐した。運轉手は、京城の発展と平和を高く評価し、アメリカとの友好関係を強化することを希望している。運轉手は、京城の建設に貢献することを希望している。

## 若く男女心中 身元が判らぬ

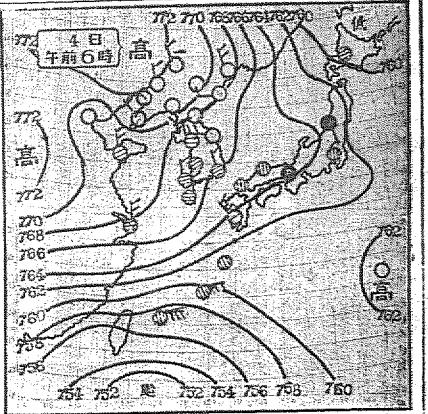
若く男女の心中事件で、身元が判らぬ。事件は、京城の発展と平和を高く評価し、アメリカとの友好関係を強化することを希望している。事件は、京城の建設に貢献することを希望している。

## 充分貴國 運河の運轉手

充分貴國の運河の運轉手は、京城の発展と平和を高く評価し、アメリカとの友好関係を強化することを希望している。運轉手は、京城の建設に貢献することを希望している。

## 匪賊安奉線を襲ふ 五龍背、哈蟆塘間二ヶ所を釜山行列車を

匪賊が安奉線を襲撃し、五龍背、哈蟆塘間二ヶ所を釜山行列車を襲撃した。匪賊は、京城の発展と平和を高く評価し、アメリカとの友好関係を強化することを希望している。匪賊は、京城の建設に貢献することを希望している。



### 蘭、萬年青陳列大會

十月六、七兩日  
會場：本館二階  
主催：京城蘭萬會

### 中村

ネガメ  
御指定

### お祭り衣裳大賣出し

湧きかへる...京城神社御祭禮近づく...  
御訪問者、繪羽を折、染着尺、御召、なごや帯、袋帯等  
四ツ身胡漢友仙 一反十七、八圓より 賣出し  
子供丸 帯(袋帯) 三四より 賣出し  
▲四ツ身モス友仙・さくら錦紗賣出し  
お祭り用御履物賣出し  
東京草履 金糸織入草履 五八〇〇より  
お子様用 金糸織入草履 一五〇〇より

### 流行シヨール陳列會

生地型に變化を見せた今年流行の逸品揃  
新型中折帽子賣出し  
今秋冬の代表的内外優良品豊富揃  
ハンドバッグ新製品陳列  
近代女性にふさわしい秋の流行型各種品揃

### モスリン着尺

五日より  
宣傳大賣出し  
マネキン人形十四姿に浴る、秋の明粧美  
新柄着尺 四圓五拾錢より  
新柄着尺 四圓五拾錢より

### モスリン着尺

五日より  
宣傳大賣出し  
マネキン人形十四姿に浴る、秋の明粧美  
新柄着尺 四圓五拾錢より  
新柄着尺 四圓五拾錢より

### 廣島市 廣島特産品宣傳即賣會

主 廣島市 廣島特産品宣傳即賣會  
主 廣島市 廣島特産品宣傳即賣會  
主 廣島市 廣島特産品宣傳即賣會



# 楽しい秋の野遊び

## 味覚の秋の寵児 お芋と栗が澤山 美しい景色の安養

秋の味覚の寵児、お芋と栗。美しい景色の中、安養を満喫しよう。

秋の味覚の寵児、お芋と栗。美しい景色の中、安養を満喫しよう。

### 紙上病院 條虫退治 息で出来る

「問」 不愉快な病状で悩んでいる。息で出来る退治法を知りたい。

「答」 本博士、條虫の退治法は、息で出来る。具体的な方法を説明する。

### 結婚の奮闘記

品作澤田田村竹松



### 【七】譜棋合手大段昇

棋盤図と解説。将棋の戦況を詳しく分析する。

### 關西風水害義捐

南風水害義捐。被災地への支援を呼びかける。

### 全鮮眞展印畫を募る

十五日締切・廿日から展覧會。朝鮮の発展を支援する募金活動。

### 野崎江門科

大正、昭和の名医。各種診療の案内。

### 大正、昭和の名医

野崎江門科、中村耳鼻咽喉科。最新の医療技術を提供。



[illegible]



# 學生受驗獨學受驗大觀

<b>◎非常時日本の青少年に告ぐ</b> ◎獨學苦學と成功の重大要素 ◎人間苦學と捨身の精神		日本學工學大學校長 森 盛利	
<b>第一編 入學法</b>			
<b>第一章 高等學校大學預科入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第二章 中等教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第三章 專門學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第三章 實業教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第四章 師範學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第四章 高等教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第五章 農林學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第五章 法律家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第六章 醫藥學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第六章 技術家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第七章 工業學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第七章 醫師立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第八章 商業學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第八章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第九章 航海學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第九章 海員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十章 船舶學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第十章 船舶立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十一章 航空學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第十一章 航空立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十二章 藝術學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第十二章 藝術立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十三章 音樂學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第十三章 音樂立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十四章 美術學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第十四章 美術立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十五章 體育學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第十五章 體育立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十六章 職業訓練所入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第十六章 職業立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十七章 補習學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第十七章 補習立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十八章 函授學校入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第十八章 函授立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十九章 遠隔教育入學法</b> 第一節 入學資格 第二節 入學試験 第三節 入學料 第四節 入學手續		<b>第十九章 遠隔立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二編 文官立身法</b>			
<b>第一章 行政官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二章 司法官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第三章 外交官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第三章 普通文官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第四章 普通文官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第四章 通信官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第五章 通信官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第五章 速記者立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第六章 鐵道員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第六章 飛行家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第七章 警察官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第七章 室内業者ガイド立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第八章 森林主事立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第八章 醫師立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第九章 神祇吏員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第九章 藥劑師立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十章 燈臺吏員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十章 獸醫師立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十一章 陸軍武官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十一章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十二章 海軍武官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十二章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十三章 海軍武官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十三章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十四章 海軍武官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十四章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十五章 海軍武官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十五章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十六章 海軍武官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十六章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十七章 海軍武官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十七章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十八章 海軍武官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十八章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十九章 海軍武官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十九章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二十章 海軍武官立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二十章 實業家立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二編 教育者立身法</b>		<b>第二編 教育者立身法</b>	
<b>第一章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第三章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第三章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第四章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第四章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第五章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第五章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第六章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第六章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第七章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第七章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第八章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第八章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第九章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第九章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十一章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十一章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十二章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十二章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十三章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十三章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十四章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十四章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十五章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十五章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十六章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十六章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十七章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十七章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十八章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十八章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十九章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十九章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二十章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二十章 小學校教員立身法</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二編 受職の新研究</b>	
<b>第一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二編 受職の新研究</b>	
<b>第一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二編 受職の新研究</b>	
<b>第一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二編 受職の新研究</b>	
<b>第一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二編 受職の新研究</b>	
<b>第一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第五章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第六章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第七章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第八章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第九章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十一章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十二章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十三章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇		<b>第十四章 受職の新研究</b> 第一節 資格 第二節 試験 第三節 待遇	
<b>第十四章 受職の新研究&lt;/</b>			

## 東京日日新聞

創刊於明治二十二年  
發行所：東京市丸の内區  
電話：二二二二  
定額：一月一元二角  
半年六元  
全年十二元  
廣告費：另議



# 母の手

## 凡ての女性よ來り讀め!

全篇感激の涙なしには讀み得ない。本書は「にんじん」「小公子」以上に兒童心理を掴んで、母たる女性と人の子との魂の底から母性愛の至純なる姿を訴へる。必ず一讀すべき佛蘭西最高の名作。佛國最高ゴンクウル文藝賞獲得の世界的名小説全譯愈成る!

母の手 三映社提供  
映畫近日公開  
東京日本橋區橋本三  
振替東京二六三九 平凡社

レオン・フラビエ著  
深尾須磨子譯  
裝幀 藤田嗣治畫伯  
定價 一圓卅錢  
全日本の家庭に推薦す  
文庫博士 吉江喬松

如何にして群を抜くか  
(増田三桂)  
●自己完成への道  
●信望される青年の資格  
●不動心養成法  
●實力を以て出る力  
●青年を世に出せる力  
●凡人でも群を抜ける力  
●人に拔ける法  
●世界十傑傳  
●政界代群を抜いた人々  
●現代名士處世術總論  
●小田原道海師言行錄  
●裸貫商賣大當り成功座談會  
●町田商相に物を訊く會  
●帝國名士久村清太氏奮闘傳  
●現代名士處世術總論  
●小田原道海師言行錄  
●裸貫商賣大當り成功座談會  
●町田商相に物を訊く會  
●帝國名士久村清太氏奮闘傳

## 北海道ミルク

新鮮・純良・簡便  
母乳代用に最適

## 探網釣具

吉備商會  
東京市丸の内區  
電話：二二二二

## 實業之日本 群衆を抜く要訣

第十月特別大號

如何にして群を抜くか (増田三桂)  
●自己完成への道  
●信望される青年の資格  
●不動心養成法  
●實力を以て出る力  
●青年を世に出せる力  
●凡人でも群を抜ける力  
●人に拔ける法  
●世界十傑傳  
●政界代群を抜いた人々  
●現代名士處世術總論  
●小田原道海師言行錄  
●裸貫商賣大當り成功座談會  
●町田商相に物を訊く會  
●帝國名士久村清太氏奮闘傳  
●現代名士處世術總論  
●小田原道海師言行錄  
●裸貫商賣大當り成功座談會  
●町田商相に物を訊く會  
●帝國名士久村清太氏奮闘傳

## 御園レム

夏の汗で荒れた肌を秋の美しい肌にする  
近代感覺 ずばらしい













遠原江。通北南流成てしと主  
都一の道線京ふ沿に線元京及

### 農村の煉炭製造

一舉三得に大乗氣で奨励

#### 平南山林課の助成

【平山電】平山町平南山林課は、昭和九年、平山町内に、平山町平南山林課の助成、農村の煉炭製造を奨励する。一舉三得に大乗氣で奨励する。一、農村の煉炭製造を奨励する。二、農村の煉炭製造を奨励する。三、農村の煉炭製造を奨励する。

### 愛國熱高潮する處

#### 古都の秋感激深し

#### 清き流れの詩調に

#### 深く往時御追懷

#### 錦繡山の戦蹟に御慈愛の御下問

#### 殿下牡丹台お成り

【平山電】平山町平南山林課は、昭和九年、平山町内に、平山町平南山林課の助成、農村の煉炭製造を奨励する。一舉三得に大乗氣で奨励する。一、農村の煉炭製造を奨励する。二、農村の煉炭製造を奨励する。三、農村の煉炭製造を奨励する。

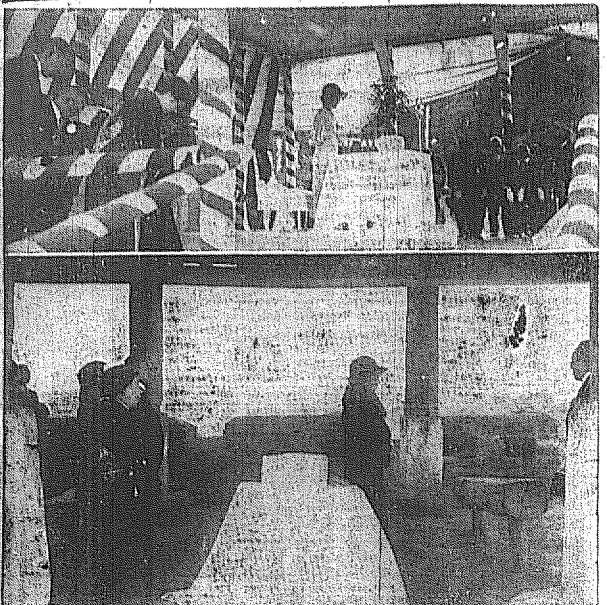
### 愛婦支部總會

三千の會衆ひたすら感激し  
かたぐ奉公を誓ふ

#### 特産品献上

#### 寫眞説明

#### 高眞説明



### 第一期の市街計畫

政府の補助金五十餘萬圓  
整理は三年がかり

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

#### 江原の第二

#### 大更運動

### 水稲の立枯れ

朝鮮礦業の汚水で  
關係部民は損害賠償要求

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

#### 當局にも善處陳情

### 水銀柱凍る

はやくも低温寒度下へ  
茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

### 肥り過ぎに

アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

#### アイマー

### 水銀柱凍る

はやくも低温寒度下へ  
茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ

#### 茂山地方の寒さ



統營とうえい小學校しょうがっこうは毎年まいねん兒童こども多おほいく多おほい専せん或あるは會かい衆しゅうの必要ひつよう

妻も驚いて

五

粃價は一斤に三厘も騰り

査を施行する事になつたの  
支所長は三日午後二時から

が最低十七%で夾雜物は既

収入を増すのみでなくこれ

る而して政府の買上米も糶

の高二十萬圓

1

中上候  
御間合七股下腰候  
町四丁目一番地  
（エビルブイニング内）  
海運株式會社  
西曆五〇四一〇八号



淋疾に新局所銀劑完成

ブ  
ラ  
オ  
ン  
ギ  
ン

カ  
ニ  
シ  
コ  
リ

淋疾の内服的殺菌力に對する

獨逸スタイン、ワレンチン博士の學說

獨逸の碩學スタイン博士(Stein)ワレンチン博士(Valentine)は内服薬に關する論文に「白檀油、バルサム等」内服ヲ運用スル者甚多ノ尿中にテハ淋菌ノ繁殖ヲ防グ力ナシ」と斷言シ、更に現代臨床醫家は「エーテル油、バルサム劑ニ殺菌力皆無ニシテ單ニ鎮痛、分泌制限、利尿作用ヲ有スルニ過ぎズ」と極説ス。然も腎臟胃腸障害を伴ひ且慢性移行の機會を與ふる内服薬其他に失望せる現代醫學界に於ては淋疾の治癒率は適切な尿所銀劑に據る治療方法が最も良好なりと稱せらるゝに至れり。即ち最も合理的なる局所銀劑は殺菌力強く、尿道内に於て蛋白と結合して効力を削減する憂ひなく、その奏效著明なるは治療經過中の局處所見に徴し明白に看取し得らるゝ處なり。

淋病治療に、**フロオン銀**の威力

前東京吉原遊廓吉原病院長  
佐藤榮先生發見創製

淋病治療期間の短縮  
ブラオン銀の効果優秀

本劑は前東京市原藤野市原病院長として十數年在任されたる佐藤榮生先生が、多年の實驗と學理に基き最も合理的實効的の完成發表されたる局所治療劑にして、臨床醫家の等しく確認せる局所治療劑としての治療作用を併有し、全く理論を裏切らざる且又前記諸博士の所説を強調し、更に臨床醫家の主張に合致したる藥劑にして、本劑の主成分「プロオン銀」は醫界に於て熟識すべしありしと製造至難とされし可溶性「イヒチオール銀」としての製出を達成したるのにして、其の殺菌消炎の強力作用に加ふるに醫學上深達殺菌作用に定評を有する「コロイド銀」を合理的に配伍し、一層理想的藥劑を完成したるものなれば、その銀屑消炎深達殺菌作用の適切にして症狀の早期良轉により治療期間の短縮を見る點は本劑の最も特徴とする處なり。

二、本劑は局所患部の直接治療劑にして他の内服、洗滌、挿入

藥等の迅速なるに比し奏効適切にして主成分の分子極微なるを以て其の特有の消失深透殺菌作用は腺内新膜組織細胞等の最深部の病竈に透達し所期の目的達成の作用を有するものにして、然も何等の副作用、併發症の憂なく最も安全に治療の目的を達し得るものなり。

三、本剤は殺菌力強きも刺激性微弱なるを以て極めて濃厚の濃度使用に堪へ、爲めに〇・五乃至〇・七五の極少量（即ち尿道に塗布する程度）にて充分に作用し、炎症に臨む淋菌並に膿球の破壊を顯微鏡的に顯示し最も有効に目的を達し得るが故、多量の使用を要する洗滌藥の如く施療に際して淋菌を後部尿道に送入しし劇毒丸炎、攝護腺炎等の併發症の危險を伴ふことなく、かつ是等を防止、豫防する作用は最も本剤の當識を博せる處なり。

臨床醫家に告ぐ

當証研究所は同病精減の可能を信ずるが故至誠を  
披瀝し主療法に對する普き専門家の試験を仰ぎ  
度く且臨牀醫家諸賢の再考を促し冷靜なる批判  
を希ふものである。

新發賣

**試藥品**  
急性症 慢性症  
濕布用錠劑  
其他附屬品付

從來の局所銀劑に求め難き、治療經過の早期良轉並に治療期間の短縮を特徴とし、而も使用甚だ簡易利便なる本劑を、未だ實驗なき各位の簡易なる試療に益せん爲め、特に低價なる試藥品を提供し普く本劑の性能効果の眞價認識に供す

二〇五入	三圓八十錢
五〇五入	七
八〇五入	十
一圓	十二圓
一圓	十五圓
一圓	十八圓
一圓	二十一圓
一圓	二十四圓
一圓	二十七圓
一圓	三十圓
一圓	三十三圓
一圓	三十六圓
一圓	三十九圓
一圓	四十二圓
一圓	四十五圓
一圓	四十八圓
一圓	五十一圓
一圓	五十四圓
一圓	五十七圓
一圓	六十圓
一圓	六十三圓
一圓	六十六圓
一圓	六十九圓
一圓	七十二圓
一圓	七十五圓
一圓	七十八圓
一圓	八十一圓
一圓	八十四圓
一圓	八十七圓
一圓	九十圓
一圓	九十三圓
一圓	九十六圓
一圓	九十九圓
一圓	一百圓


免つ文獻に依り本劑の性能と實驗成績報告等を知られよ發賣元へハガキで申込次第送呈











く な、 青春<sup>せいしゅん</sup> (2)

三上 於菟 吉  
吉 邨 二 郎 盡

同六時五分(東)	基隆英盟聖殿	村岡 花子
(十七)		
同七時	ニエース、天氣驟雨	岡田吉三郎
同七時十分(東)	鐵鋼、神武天皇	
丹波東征を記す等々		
文藝文庫	鹽谷 潤	
同八時	東海通領道臺中(第一夜)	
大磯、平塚、小田原		
三夜)		
内より中繼、靜哉、信濃國田王		

ミツワ文庫

回

美味滋養

フ  
フ

0-59